

中山 11

発走 15:45

Table with columns for race numbers (桃8, 14, 13, 12, 11, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2, 1), horse names, jockeys, and other details.

Table with columns for horse names, jockeys, and other details.

Table with columns for horse names, jockeys, and other details.

Table with columns for horse names, jockeys, and other details.

▲主力の3頭
ロサギガンティア
朝日杯は切れ味ではなく力でねじ伏せた勝利。時計のかかる馬場の適性で一歩リード。

▲ロサギガンティア
前走の末脚は迫力満点。力のある馬場・速い流れは未知数だが、スケールの大きい走り。

▲ロサギガンティア
展開が向いた面も。ジワジワ伸びる馬で、千八はOKか。

▲ロサギガンティア
勢いでは前走勝ちの馬。サクセスは派手さはないが好レース。ナスノアオバは時計のかかる芝で2勝、不器用でもパワフル。マイネルアウラ

番 手
柏木 集保
小黒津 正一
久保本 正行
本紙 飯田

第63回 スプリングステークス (GII)
(3歳オープン・父牡・牝馬)

賞金
1位 5200
2位 2100
3位 1300
4位 780
5位 520

馬場状態
中山芝
去冬タフ
芝タフ

本紙の見解
素質高いロサギガンティア
前走のロサギガンティアは、残り1ハロンだけ脚を使っていた。時計も0秒5は短縮できた。かなり加減だった内容から、もっと速い流れになるのは歓迎。中山千八に対応できる、器用さもある。決め手鋭いベルキャニオン、時計かかる馬場有利なアジアエクスペレスが相手。

Table with columns for race numbers (11R) and horse numbers (2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10).

Table with columns for horse numbers (2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10) and other details.

中山も経験しているから
ロサギガンティア(連下級)
高木登師前走は前の位置を取りにくいところを崩し、脚の使いどころが難しいタイプだが、ある程度の位置でタメを利かせる形を取りたい。

相木の単複連
今季の中山の芝はデビューインパクト産駒向きではないが、ベルキャニオンの牝系はパワフルの芝もこなす。全兄弟はミネタサハラは昨年の弥生賞を勝っている。

ロサギガンティア
前走の末脚は迫力満点。力のある馬場・速い流れは未知数だが、スケールの大きい走り。

**グリーンチャンネル解説者**  
**黒津 紳一** **松原 正行**

直線で前が壁、並みの馬なら致命傷とも思える不利を克服して500万勝ちの出走するホココタルマエとデビューして出するジャスタウェイフリーに出るジャスタウェイ、ともに極めて順調にこのレースに向かっているだけに、血統面でもこれらのレースに向いているように思う。ホココ

**血が騒ぐ山野浩一**

今年のドバイワールドC開催で特に期待したいのはワールドCに出るホココタルマエとデビューして出するジャスタウェイフリーに出るジャスタウェイ、ともに極めて順調にこのレースに向かっているだけに、血統面でもこれらのレースに向いているように思う。ホココ

11R 3連複  
 上位1/4~25%  
 23.4 7.8  
 34.10 8.3  
 32.10 15.7  
 24.10 20.5  
 13.4 23.1  
 34.5 24.7  
 34.7 29.5  
 12.3 34.8  
 34.6 45.5  
 13.10 48.1  
 34.14 48.2  
 2.37 49.7  
 37.10 50.1  
 12.4 50.6  
 23.5 51.0  
 14.10 54.3  
 35.10 57.7  
 24.5 59.1  
 34.8 67.1  
 45.10 72.0  
 34.15 75.9  
 24.7 79.3  
 34.11 81.3  
 34.6 83.3  
 47.10 86.3

11R 3連単  
 上位1/4~25%  
 43.2 23.2  
 43.10 24.6  
 34.2 29.8  
 34.10 33.5  
 42.3 34.9  
 32.4 37.6  
 41.0 40.2  
 23.4 48.4  
 31.0 52.2  
 24.3 52.6  
 32.10 59.6  
 43.1 64.5  
 31.0 68.6  
 42.10 77.6  
 10.34 77.7  
 23.10 79.5  
 43.5 83.6  
 10.43 83.9  
 43.7 85.7  
 41.0 88.1  
 34.1 95.7  
 43.7 103.4  
 34.5 104.8  
 24.3 106.3  
 21.0 124.7

1 19.7  
 2 9.0  
 3 29.3  
 4 192.8  
 5 71.2  
 6 53.9  
 7 144.6  
 8 138.2  
 9 61.3  
 10 68.9  
 11 89.5  
 12 157.3  
 13 95.8  
 14 95.8  
 15 89.5

**中山 11R** **マイネルアラウト**  
 1週前が好内容 集中して抜群の伸び

11R 1600 1000 800 600 200 脚いろ

①サクラエール 栗坂 調師 53.2 38.7 13.0 一杯追先  
 13栗坂助手 545 391 131一杯追遅 19栗坂助手 529 385 130一杯追  
 ピンツと違って好時計。さらに上向いている。【B】

②ロザギン南W稍 51.7 37.6 12.7 馬なり先  
 21栗坂助手 583 431 146馬なり 23栗坂助手 557 402 129馬なり  
 27栗坂助手 530 389 128馬なり 2栗坂横義 532 398 131馬なり  
 5南BW稍助 手 68.8 53.1 39.3 13.3 馬なり  
 9栗坂助手 554 400 129馬なり  
 12南BW稍助 手 67.0 51.3 37.7 12.8 強めに  
 16栗坂助手 512 370 123強めに先  
 19南BW稍助 手 67.8 52.8 38.6 13.1 馬なり併  
 22栗坂助手 560 417 136馬なり  
 坂路併用し地力強化。3頭の真ん中でも平然と。【A】

③ベルキヤニ南W稍 69.7 53.2 38.6 13.1 前強先  
 9栗坂助手 559 409 130馬なり  
 13南BW稍助 手 67.2 52.5 38.3 13.4 馬なり併  
 16栗坂助手 565 414 131馬なり  
 20南BW稍助 手 52.7 38.7 13.0 馬なり先  
 (古1000サトノジュビター馬なりの内を出走1勝先着)  
 いつも通りにバネを利かす。馬体に幅も出る。【A】

④アジアクスブレ 美坂 武士 52.3 38.3 12.9 G前強先  
 27南BW稍助 手 69.4 54.3 40.0 13.2 馬なり併  
 5南BW稍助 手 85.4 69.1 53.9 39.1 12.8 馬なり併  
 9南BW稍助 手 73.8 57.5 42.2 13.0 馬なり併  
 12南BW稍助 手 66.0 52.3 38.7 13.6 馬なり併  
 19南BW稍助 手 83.2 67.7 53.9 39.9 13.3 馬なり併  
 (古オカアユサン馬なりの外を出走併入)  
 マダ肉を削ぎ完全に芝仕様。スピード感が違う。【A】

⑤モリス 栗(重) 85.2 68.3 53.0 37.9 11.6 一杯追  
 7栗坂助手 591 414 128馬なり  
 12栗CW稍助 手 72.4 55.8 40.8 12.3 G前追  
 16栗坂助手 551 395 120一杯追  
 19栗CW良助 手 86.2 69.7 53.8 38.8 11.6 一杯追先  
 (古500マルケサス一杯の内を出走1勝先着)  
 やや追い不足だが、稽古駆けから自立つ動き。【B】

⑥ミッキーデータ 栗坂 助手 52.4 38.6 12.9 一杯追併  
 5栗坂助手 552 397 133馬なり 12栗坂助手 524 391 130一杯追併  
 19栗CW良助 手 83.9 67.9 53.2 39.9 12.0 馬なり先  
 (三500フシシガ馬なりの内を先1勝先着)  
 先行からとはいえ余裕の先着。さらに充実した。【B】

⑦ダンオン栗重 81.0 65.8 51.3 37.5 12.2 強めに先  
 27栗坂敵良 578 417 130馬なり併  
 6栗CW重助 手 84.1 67.6 52.6 38.3 12.4 一杯追遅  
 14栗DP良助 手 54.6 38.6 12.8 馬なり併  
 19栗CW良助 手 79.7 64.9 51.2 37.8 12.0 強めに先  
 (三末勝ケンタムギ一杯の内を出走先着遅れ)  
 大きく追走して遅れたがさすがの伸び。好調。【B】

⑧ウインマー南W稍 68.5 53.3 40.0 13.3 一杯追先  
 6南BW稍助 手 85.4 69.0 53.7 38.8 13.6 一杯追併  
 9栗坂助手 562 408 129馬なり  
 12南BW稍助 手 80.3 64.4 50.3 36.5 12.9 一杯追遅  
 16栗坂助手 564 406 121馬なり  
 19南BW稍助 手 69.1 54.0 39.0 12.6 馬なり先  
 (三オカマイネルフラス一杯の外で先行半勝先着)  
 立て直して動きに力強く。活気も戻って復調。【B】

⑨リゼントロック 栗坂 中谷 53.0 39.1 12.3 一杯追併  
 12栗坂中谷 507 374 128一杯追遅 19栗坂中谷 523 384 129一杯追併  
 (古1000タイセイリ一杯の内を出走3勝遅れ)  
 2週続けてピンツと追った。芝もOKの切れ味。【B】

⑩クラティ南W稍 69.2 54.2 39.9 12.6 G前強併  
 12南BW稍助 手 72.2 56.1 41.3 13.0 馬なり併  
 19南BW稍助 手 68.1 53.7 39.7 12.7 強めに先  
 (三500フレイズアスピリット一杯の内を出走1勝先着)  
 思ったほど離せなかったが、順調に追い好調維持。【B】

⑪マイネルアラウト南W稍 70.9 55.6 41.3 13.4 G前強  
 6南BW稍助 手 71.5 55.1 40.2 13.0 馬なり  
 13南BW稍助 手 66.7 51.8 37.6 13.3 馬なり  
 19南BW稍助 手 69.2 53.6 40.2 12.8 強めに先  
 3馬身先着の先週が好内容。集中して抜群の伸び。【A】

⑫ネオヴァ南W稍 70.6 54.6 40.4 13.1 馬なり併

タルマエは芝でもダートでも、短距離でも、長距離でも強いキングダムハメハ産駒で、どんな馬場でも能力が衰退しない、力の競馬が実際にドバイでシマクラックを勝ったハイツクリ産駒で、遠征の緊張感が力を発揮させる。ベルキヤニオンはこの時期から本格化して、キーンテンはこの時期から産駒で、前走以上のレースを期待

スタップ予想  
 脚質  
 1 サクラ 2 ロザギン 3 ベルキヤ 4 アジア 5 モーリ 6 ミツキ 7 ダニオン 8 クラティ 9 ウイン 10 クラティ 11 ネオバ 12 ネオバ 13 シベリ 14 ナクイン 15 ナクイン

JRA中間発表  
 馬番連勝オッズ (午前10時現在)

1 14 72.5 121774.7  
 2 48.7 15 141.5 131223.9  
 3 31.9 4 341.3  
 4 24.1 5 27.9 151044.0  
 5 54.6 6 66.5 181  
 6 366.0 7 43.6 10 645.4  
 7 271.0 8 81.3 10 140.3  
 8 264.9 9 103.5 11 408.0  
 9 473.3 10 7.9 12 267.6  
 10 79.3 11 113.8 13 1690.2  
 11 486.3 12 308.7 14 438.2  
 12 174.0 13 202.9 15 724.4  
 13 1075.6 14 55.3 1 9  
 14 248.1 15 118.8 10 266.9  
 15 325.7 1 11 934.1  
 2 8.8 6 183.0 121365.2  
 3 8.7 7 159.9 132535.2  
 4 8.5 8 268.9 14 845.1  
 5 57.0 9 514.4 151690.2  
 6 125.5 10 61.8 10 167.5  
 7 90.8 11 479.7 121044.0  
 8 112.0 12 986.0 13 554.6  
 9 202.9 13 739.5 14 137.6  
 10 21.3 14 403.4 15 137.6  
 11 227.6 15 645.4 15 199.4  
 12 622.7 6 183.0 1 11  
 13 398.8 7 165.9 125700.4  
 14 144.3 8 622.7 13266.2  
 15 186.9 9 563.4 14 865.7  
 1 8 109.9 15 910.1  
 4 4.8 11 986.0 1 12  
 5 35.2 12 314.6 131868.1  
 6 52.9 13 690.2 142087.9  
 7 37.1 14 633.8 153549.3  
 8 69.6 15 1034.1 1 18  
 9 157.1 10 7 142218.3  
 10 10.3 8 266.9 15 910.1  
 11 104.4 9 788.8 1 44  
 12 331.8 10 30.7 15 449.3  
 13 233.6 11 97.6

成績欄の馬場状態  
 ひと開催12日間以内で「1中」  
 とあるのは、1回中山2日目の良馬場を示します。不良馬場なら「2」  
 重馬場なら「3」。なお馬場なら「2」  
 となります。

9栗坂助手 567 411 130馬なり  
 12南BW稍助 手 70.8 54.5 40.3 13.4 馬なり併  
 16栗坂助手 549 398 122馬なり  
 19南BW稍助 手 72.6 56.0 41.9 13.8 馬なり併  
 (隆末勝エフティシリウス馬なりの外で先行併入)  
 折り合いもスムーズに駆けた。少しずつ実が入る。【B】

⑬ビバリアン小ダ稍 71.5 56.4 42.0 13.3 馬なり  
 13南BW稍 手 84.1 68.0 52.5 38.6 13.0 馬なり遅  
 19南BW稍助 手 69.4 53.2 38.6 12.5 馬なり  
 気持と体が噛み合う。遠征の疲れも急上昇。【B】

⑭クインズハリジャ 栗坂 助手 51.4 38.0 12.8 一杯追遅  
 23栗CW良助 手 87.2 71.5 57.6 43.4 12.8 馬なり併  
 27栗CW良助 手 82.3 67.5 53.5 40.1 12.7 一杯追  
 6栗CW重助 手 82.6 67.7 53.5 39.7 12.2 一杯追  
 9栗CW良助 手 70.2 54.5 39.8 12.7 馬なり併  
 12栗CW稍助 手 81.3 66.2 52.4 38.4 13.6 一杯追併  
 16栗CW稍助 手 85.8 69.4 54.1 40.1 13.8 G前追遅  
 19栗CW良助 手 98.3 66.8 52.1 37.9 12.6 一杯追先  
 (古1600メイショウブンブク一杯の外3Fより13秒先着)  
 長めを行って最後まで乱れない。仕上がった。【B】

⑮ナスノア南W稍 68.8 54.3 39.8 13.6 一杯追先  
 13南BW稍助 手 67.4 52.5 38.8 13.9 一杯追併  
 19南BW稍助 手 66.7 51.9 38.0 12.9 直一杯先  
 (三500アムールスキー一杯の内を出走4勝先着)  
 シワジ引き離す。軌道に乗り馬体の張り。【A】

成績欄の馬場状態  
 ひと開催12日間以内で「1中」  
 とあるのは、1回中山2日目の良馬場を示します。不良馬場なら「2」  
 重馬場なら「3」。なお馬場なら「2」  
 となります。

成績欄の馬場状態  
 ひと開催12日間以内で「1中」  
 とあるのは、1回中山2日目の良馬場を示します。不良馬場なら「2」  
 重馬場なら「3」。なお馬場なら「2」  
 となります。

成績欄の馬場状態  
 ひと開催12日間以内で「1中」  
 とあるのは、1回中山2日目の良馬場を示します。不良馬場なら「2」  
 重馬場なら「3」。なお馬場なら「2」  
 となります。



大川浩史

**これで決まり!**  
今のテーマは「重い芝」  
▼アドマイヤドンは2歳時に芝のGI(朝日杯F/S)を勝ったが、以後は芝(0016)でダートGI(JpnI)を6勝。  
ダート馬が2歳時には芝の重賞で好走することは珍しくない。  
アドマイヤドンは産駒は通算では芝9勝(連対率9・0%)、ダート34勝(連対率13・4%)だが、2013年以降は芝7勝



編集長の目

▼春のビッグレースが近づき、3歳戦でも、古馬陣でも、騎手の乗り替わりが目立っている。  
阪神大賞典で天皇賞(春)に向けて始動するゴールドシップには、皐月賞、菊花賞、有馬記念、宝塚記念、4つも頂点のビッグレースでコンビを組んでいた内田博幸騎手に代わり、岩田康誠騎手が乗ってきた。  
▼岩田騎手は天皇賞(春)ではウインバリアシオンに騎乗予定のため、今回は代打とされる。  
でも、本番では内田騎手にもう戻らないだろう。  
個性あふれる追い込みのゴールドシップに、陣営から、「もっと先に行ってくれ」の注文が出て、行ったら結果が出なかったあたりから、不協和音が聞こえていた。  
▼今回のゴールドシップは素晴らしいデキがいい。この相手だから結果は出るだろうが、キズナやメイショウマンボ、フェノメノなどと対戦が予定される天皇賞(春)は、だれが乗るのだろうか。難しい。  
▼ゴールドシップは「……」。爽快か、憂うつか不明。  
▼スプリングSでは、再三勝ちあぐねたクラリティシチーが、

(連対率21・2%)、ダート8勝(連対率10・1%)。『芝コースを柔らかい馬場にする』というJRAの方針により、芝での好走が増えたのだと思う。  
▼アジアエクスペレス(中山11R)の前走もアドマイヤドンの似たパターンだと思っただけで本命にはしないが、今の中山芝だと無印にはいい。逆に昨年12月以降、中山芝で苦戦が目立つディープインパクト産駒は本命にはできないので、「重い芝の中山内回り」がドンピシャのステイゴールド産駒マイネルアウラート本命となりました。

田中勝春騎手から、内田博幸騎手にチェンジする。  
ロサギガンティアは、M・デム1口騎手が乗ってきた。  
▼ロサギガンティアの父フジキセキ(22歳)は、もう種牡馬は引退しているから、16世代目の現3歳馬が最終世代。  
もう15年も連続して種牡馬総合ランキングで10位以内を保ってきたフジキセキの産駒は、全国で1059頭が勝ち上がり、平地で3258勝もしている。  
だが、不思議なことに、なぜか3歳クラシックは1度も勝ったことがない。  
▼今年は、候補イストラポニータがいる。このロサギガンティアが③着以内に入って出走権を獲得すると、フジキセキの産駒は2頭が有力候補となる。  
フジキセキは、最終世代からついにクラシック馬を送ることができただろうか。  
ロサギガンティアを管理する藤沢和雄調教師も、山のように活躍馬を送っているが、男馬のクラシックは未勝利である。  
▼M・デム1口騎手は日本で2375競走に乗り、全国で355勝(GI9勝)もしている。  
日本の騎手は海外に行くこともムズに騎手申請は通る。ではM・デム1口に、なぜ日本で騎乗するための試験が必要なのだろう。  
[柏木]



小木曾大祐

**発見馬**  
先週は美浦残りの当番。今週は火曜日から出勤と、ずっと調教を見ている。1頭ぐらい馬券にしないと...というわけで、まずは③Rのサダムホノルアベイの変わり身に注目。  
今週はウッドチップで前で併せていた2頭を、手綱を持ったまま外から抜き去り、楽々3馬身の先着。時計こそ目立ちませんが、迫力満点の走りは庄巻の内容でした。大型馬でひと叩きの効果は大きく、パワフルな走法からダート変わりは大歓迎。単勝から狙っていきます。  
飛んで阪神①R、スタミナ勝負にはならないと見てバンデに。道中動きづらいうち少頭数、反応が良いとは言えないゴールドシップ。自分の形で動ける強みを活かせる舞台で1着つけ。

【バックナンバーの問い合わせ】  
中央・公営版ともに電話(03)349314916、営業部あて月々木曜にお願います。  
なお、バックナンバーは一部二百円、数に限りがあり、売り切れの場合は御容赦下さい。



2012年の菊花賞でゴールドシップが最後方から徐々にポジションを上げ、やがて馬群をまとめてのみこんだとき、「イイモノ見たなあ」とおれはうれしかった。そして有馬記念での庄巻のロングスパート。  
「おい、イイモノ見たなあ」とおれはおれに言い、すばらしい気分になった。  
「イイモノ見たなあ」と心ふるえるのは競馬好きの幸せのひとつで、ゴールドシップはおれにとってポスのような存在だった。  
2013年のジャパンCをおれは忘れない。後方におれ

**藤本貴久の「叩き」**  
中山11R ロサギガンティア  
疲れてくる右目が奥二重になり自然とプチ整形。ただ、後輩からキモいと言われる有様。確かにこれほどマッチしないとはショック!「残り1Fで進路が開くとそこからの瞬発力は強烈。突き抜ける」

◆朝日F/S優勝馬の年明け初戦

15年コスモサンビーム	スブ⑤①
16年マイネルレコルト	弥生⑥②
17年フイチリシャル	共同②①
18年ドリームジャーニー	弥生⑥②
19年ゴスホークケン	NZ⑫②
20年セイウンワンダー	弥生⑥②
21年ローズキングダム	スブ③①
22年グランプリボス	スブ④⑤
23年アルフレード	スブ⑫①
24年ロゴタイプ	スブ①②

\*○内は人気

1800m	10	315	283	272	215	163	159	157	154
芝	キツ	名崎	藤	典	宏	岡	善	博	浦
中山	対	蛭	戸	後	横	北	吉	松	柴
ヨ	率	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
率	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰
率	⑱	⑲	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕	㉖
率	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	㉜	㉝	㉞	㉟
率	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹
率	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾	㊿	㊿	㊿	㊿

2009~2013年上30騎乗以